

第1回総合計画策定委員会 議事要旨

日 時：令和8年8月31日（月）15時

場 所：白老町議会第1委員会室

出席者：策定委員会委員（町長、副町長、教育長、部長職9名）

第1回策定委員会では、第7次白老町総合計画の策定方針や今後の進め方、白老町の現状などについて意見交換を行いました。

主な意見は次のとおりです。

1 町民とともに作る計画について

総合計画をより身近なものとするため、策定途中から町民が関わり、ともに考えていくことが重要との意見がありました。また、無作為抽出による審議会委員募集など新たな町民参加の手法について、その進め方や、多様な町民の声をどのように計画づくりにつなげていくかについて意見交換を行いました。

2 職員の関わりと策定体制について

総合計画を策定して終わりとはせず、職員が当事者意識を持って策定や進行管理に関わるのが重要との意見がありました。一方、庁内PTや会議などによる職員負担も考慮し、全庁的な協力体制や実行可能な運営方法を検討する必要があるとの意見もありました。

3 計画の実効性について

第6次総合計画の成果や課題を振り返り、第7次計画につなげることや、個別計画との関係を整理すること、KPI（成果指標）を活用しながら策定後も継続して進捗を確認していくことが重要との意見がありました。

4 白老町の現状を深く捉えることについて

人口については、単純な増減だけではなく、年代ごとの変化やその背景を分析することが必要との意見がありました。また、外国人住民を含め、多様な立場の町民の声を計画づくりに取り入れることについても意見が出されました。

今後について

今回の意見を踏まえ、町民の声を計画にどのようにつなげるか、職員がどのように関わるか、策定後の進行管理をどのように行うかなど、具体的な仕組みを検討しながら計画づくりを進めていきます。

以上